

化学グランプリ2018 ☆大賞 受賞 ☆銅賞

化学グランプリ2018の大賞・銅賞受賞に際して、横断幕を寄贈していただきありがとうございました。

化学グランプリは日本化学会が主催する化学の実力を競い合うコンテストです。今年、7月16日（海の日）に1次選考が全国66会場で行われ、3,963名の中高生がマーク式の試験に取り組みました。国立高校からは、化学部の2年生、3年生合わせて6名が挑戦しました。

国立高校3年生の小柴拓実さんと成瀬怜音くんを含む成績上位者80名が一次選考を通過し、8月17日（金）～18日（土）に二次選考が茨城県つくば市の筑波大学で行われました。二次選考は240分間で実験およびレポート作成をする試験です。

選考の結果、小柴拓実くんが大賞（上位5位以内）、成瀬怜音くんが銅賞（上位80位以内）を受賞しました。



大賞メダル



銅賞メダル



化学グランプリは化学オリンピックの国内予選に当たる大会です。本大会で優秀な成績を修めた高校2年生以下の21名が、来年の夏にフランスのパリで開催される化学オリンピックの代表候補に選ばれました。化学オリンピックへの派遣教育の後、代表が4名選出され、本選へと進みます。代表候補者のなかには、国高生と同じように今年の4月から学校で化学基礎を履修し始めたという公立高校の2年生もいます。

国内の自然科学系のコンテストは、他にも「日本生物学オリンピック」「物理チャレンジ」「日本地学オリンピック」「科学地理オリンピック日本選手権」「日本情報オリンピック」「日本数学オリンピック」があり、どのコンテストも世界大会につながっています。学校の勉強とは一味違った面白さを感じることができるでしょう。

化学部では化学グランプリの参加のほか、文化祭での発表、3月には日本化学会関東支部主催の化学クラブ研究発表会での発表も行っています。また、実験器具や薬品の購入においても後援会からの活動支援をいただいています。

今後とも、化学部の応援をよろしく願いいたします。新入部員も随時募集しています。

化学部顧問
原 華